

平成23年度 岡山県立邑久高等学校 学校評価書

校長 谷川 真利子

1 自己評価

評価結果および分析・改善方策 [別紙](#)

2 学校関係者評価委員名

川野 正雄 (学校評議員)
野崎 新吾 (学校評議員)
増田 安泰 (学校評議員)
青木 洋子 (学校評議員)
高間 直美 (学校評議員・PTA役員)

3 学校関係者評価

学校は経営目標を達成するためにいろいろな努力を重ねており評価できる。

第一に「学び合い」という学習形態を取り入れ、職員研修や公開授業を実施し、学力向上に努めている。

第二に全職員共通理解のもと生徒のわずかな変化や問題をメモし、情報として共有し指導する体制が確立しており、生徒の心身の健全な発達に寄与している。この指導体制のさらなる充実を期待する。

第三にWebページのブログ化・メール配信システムの導入・メディアへの発信・ボランティア活動など、地域・保護者との連携にむけての取組や対応の早さは評価できる。

第四に県産材活用UD整備事業に応募し、生徒教職員一体となって情報収集やアイデア・プレゼン等の検討を重ね、応募した6校の中から採択され、その整備が完成したことは邑久高生にとって素晴らしい経験となったと思う。

その他にも評価できる取り組みは多く、生徒・保護者も現状にある程度満足しているが、さらなる改善や新規取り組みを実施し努力してほしい。

4 来年度の重点取組

来年度も従来掲げてきた「学力の向上と進路実現」「心豊かな人物の育成」「教育連携・地域連携の推進」「学習環境の整備」等の実現のため、具体的な取り組みを一層充実させていかなければならない。さらに、委員の方からいただいた「読書の大切さ」「地域の施設や人材の活用」「国際交流」「大学生・社会人として通用する学力・マナー」などのテーマを具体的な取り組みとして実施できるように検討を重ねていきたい。